

このたびは **Sakae Fuji** 草焼一番「KY-5000HB」をお買い求めいただきありがとうございます。

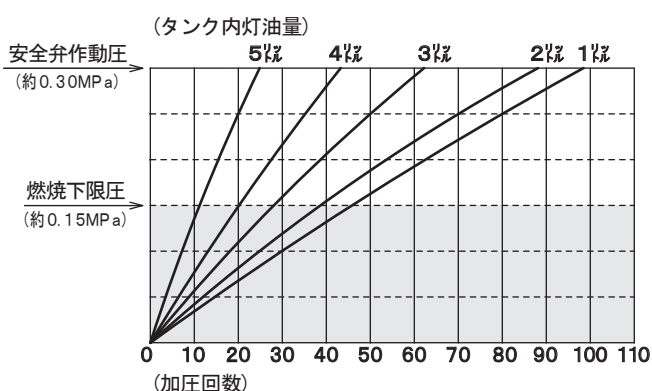
本製品は「火」を扱う製品です。取り扱いを間違えますと、やけど・火災等の危害を及ぼす恐れがあります。取扱説明書の注意事項をよくお読みいただいてからご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本製品は日本国内専用です。海外への持ち出しはしないでください。

絵表示の意味

- 危険** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う危険が切迫しているもの
- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・財産などの損害に結びつくもの
- 一般的な注意
- 一般的な禁止
- 必ずおこなう

タンク内灯油量と加圧回数の目安



仕様

型番	KY-5000HB
本体寸法	(バーナー・接手部)全長1,305×幅85×高さ167mm (タンク部)φ177×高さ476mm (ホース)1.6m
本体重量	約5.9kg(燃料含まず)
火口径	φ81mm
火炎温度	約1,390℃
火炎長さ	約600～800mm
発熱量	約86.1kW(約74,000kcal/h)
連続燃焼	約40～50分
予熱方法と時間	カセットボンベのガスで15～30秒 (予熱時間は外気温によって変化します)
タンク容量	5.0リットル(タンク容量:6.0リットル)
使用燃料	灯油(白灯油)／カセットボンベ
付属品	カセットボンベ(KYB-250)
メーカーオプション	フィルターユニット(フィルターを交換できる機能) ※メーカーに製品を送付して取付け(部品単位の出荷不可)

※発熱量は5分間の数値を1時間に換算したものです。
※上記数値は当社実験データによるものです。

お買い上げいただきました製品は万全を期していますが、点検で不備な点、及び製品について不具合や不明点があった場合、また修理をご依頼の際は、お買い求めになった販売店・代理店または弊社へご連絡ください。

生産物賠償責任保険(PL保険)付
MADE IN JAPAN

Since 1937
榮製機株式会社

〒441-0105 愛知県豊川市伊奈町佐脇原68
TEL (0533) 73-1190(代)・FAX (0533) 73-1196
http://www.sakae-seiki.co.jp/
E-mail: info@sakae-seiki.co.jp

2021/9

無償修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、弊社が無償修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合、本品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店が弊社にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天変地異・公害による故障及び損傷
ニ) 保証書のご提示の無い場合
ホ) お買い上げ日、販売店等の記載がない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

保証書

草焼一番ハイブリッド 屋外用強力灯油バーナー KY-5000HB

保証期間 お買い上げ日より1年間

お買い上げ日

取扱販売店・住所・電話番号

ご芳名

ご住所

お電話

榮製機株式会社

使用燃料取扱上の注意

燃料は必ず灯油(白灯油)をご使用ください。



危険

- タンクの中へは灯油以外の燃料(ガソリン・軽油等)は絶対に入れないでください。やけどや火災の原因となります。
- 変質・変色及びゴミ等の混ざった灯油は絶対に使用しないでください。異常燃焼及び火口内部のらせん状パイプやノズル詰まり等の原因となります。

使用容器(ボンベ)取扱上の注意

- 容器(ボンベ)は、**Sakae Fuji** の表記がある専用容器(ボンベ) **KYB-250・G300・PG300**を必ずご使用ください。それ以外の容器(ボンベ)を装着した場合、ガス漏れやガスが出ない等の不具合が発生します。
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

警告

- 容器(ボンベ)が、高温になりますと、容器(ボンベ)内の圧力が過剰になり、爆発の原因となりますので下記の取り扱いを守ってください。
 - 容器(ボンベ)をストーブ(ファンヒーター)などの熱気にあたる場所、熱い砂の上や電磁調理器の上など熱の伝わる場所に放置しない
 - 輻射熱を受けやすいような至近距離での燃焼はしない
 - 車内、火気や直射日光の当たる場所で保管しない
 - 容器(ボンベ)を火中へ投じない
 - 容器(ボンベ)はバーナーから取り外し、キャップをして風通しが良く湿気の少ない40℃以下の涼しい場所に正立状態で保管する
- ガス漏れの原因となりますので下記の取り扱いを守ってください。
 - 容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない
 - 著しく変形した、または著しくサビた容器(ボンベ)は使用しない
- 容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まないでください。一酸化炭素中毒や酸欠の原因となります。

製品取扱上の注意

警告

- 使用前にガス・灯油の漏れがないか必ず確認してください。漏れている場合は、引火などの危険があり大変危険ですので使用しないでください。
- 使用中または使用直後はバーナーが熱いので手などで触れたりしないでください。
- 容器(ボンベ)は正しく装着してください。正しく装着されていない場合、ガス漏れの原因となります。

注意

- タンク内に残った灯油は必ず抜いてください。灯油の変質、器具の故障の原因となります。
- 加圧した状態で長時間放置せず、使用後は速やかにタンクの圧力を抜いてください。
- 燃焼熱が製品に伝わり、製品を過熱するような使用はしないでください。故障の原因となります。
- バーナー・火口にごみや異物等を付着させたまま使用しないでください。異常燃焼を起こし故障の原因となり危険です。
- ホースは高温部に触れないように注意してください。また、無理な曲げ、よじれ、折れ、引っ張りがないよう注意してください。
- 保管は40℃以下の直射日光の当たらない場所にしてください。
- お子様の手の届かない場所に保管し、お子様には絶対に使用させないでください。また、お子様の近くでは使用しないでください。
- 絶対に分解しないでください。故障やけが等の原因となります。
- 本製品を雨や水などで濡らさないでください。故障の原因となります。
- 本製品は屋外専用です。必ず屋外で使用してください。
- 本製品は日本国内専用です。海外への持ち出しはしないでください。

- 容器(ボンベ)に付いたサビの原因となる水分(湿気)等はよく拭き取ってください。時々点検し、サビが発生している場合はガス漏れが無いことを確認し、出来るだけ早めに使用してください。
- 使用済み容器(ボンベ)への再充填はしないでください。ガス漏れ・爆発等の危険性が高く安全を確保することができません。
- 容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする場合はまだガスが残っています。容器(ボンベ)は完全に使い切ってから各自自治体の処理方法に従って捨ててください。



製品取扱上の注意

警告

- やけどや火災の原因となりますので下記の取り扱いを必ず守ってください。
 - 給油は必ず消火してからおこなう
 - 風の強い時は使用しない
 - 必ず風下を向いて点火、使用する
 - 火気厳禁の場所や可燃物(家屋・板べい・かやぶき屋根等)から3m以上はなれて使用する
 - 点火時及び使用中に火口をのぞき込んだり人に向けてたりしない
 - 使用の際は消火器や水を入れたバケツなどを用意する
 - 使用後は燃やした物に必ず水をかけ、火だねが残っていないことを確認する
 - 火がついている場所から離れない

- 1 -

●故障・異常の見分け方

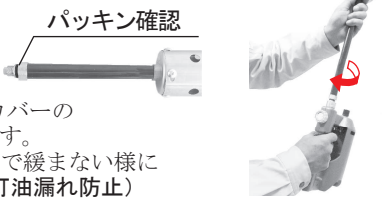
現象	点火しにくい	点火しない	息継ぎする	炎が安定しない	炎が突然消える	灯油が生で出る	炎が赤い	ガス・灯油の臭いがする	炎が消えない	タンクに圧力が	処置方法
タンク内の圧力が低い		●								●	ポンプで数回加圧する
ポンプ部のパッキンが効かず、加圧できない										●	パッキンにワセリンを塗布する パッキンを交換する
予熱不足					●	●					予熱をやり直す
バーナーが煙を吸い込むことによる酸欠				●	●	●					風上に立ち、燃焼物からバーナーを遠ざけて使用する
給油口から圧力が漏れる						●	●	●		●	ポンプキャップをしっかり締める
給油口から灯油が漏れる						●	●	●			タンク内の灯油を少し減らす
らせん状パイプの損傷						●	●	●			新しいバーナーと交換する
容器(ボンベ)のガスが少ない/灯油が少ない	●										新しい容器(ボンベ)と交換する/給油する
フィルターが目詰まり			●								点検・修理を依頼する
灯油バルブの故障			●	●				●	●		点検・修理を依頼する
タンクの故障								●		●	点検・修理を依頼する
ガスバルブの故障	●							●	●		点検・修理を依頼する
ノズル詰まり	●	●									点検・修理を依頼する

- 点検時、分解はしないでください。ガス漏れなどを起こし、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 火口先端部が赤熱したり、黒いすすが付くのは故障ではありません。

- 2 -

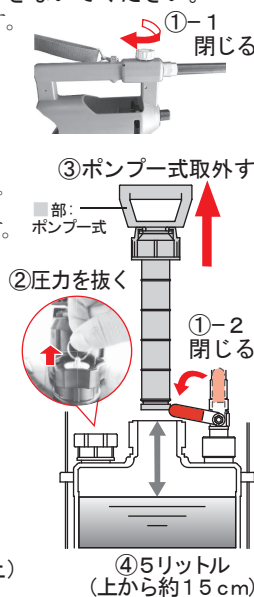
①バーナーの組み立て

- ① 接手のパッキンに脱落・汚れ・傷がないことを確認してください。
- ② パーナーの接手をポンベカバーの取り付け部にねじ込みます。
- ③ スパナ等(H21 2本用意)で緩まない様に締めてください。(ガス・灯油漏れ防止)



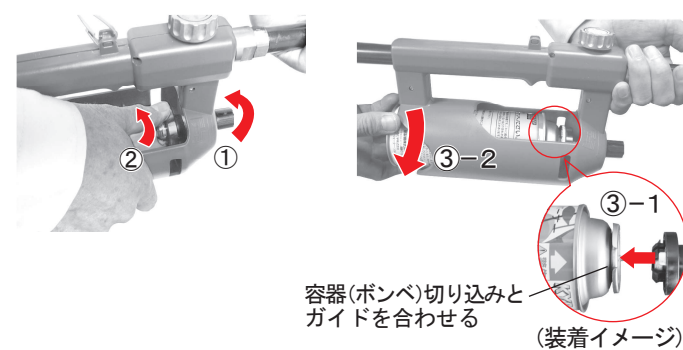
② 給油

- ① 給油は必ず火が消えている状態でおこなってください。
- ② タンクを水平な場所に置いて給油をおこなってください。
- ③ 灯油調節ツマミを開閉とも強く締めすぎないでください。固着して動かなくなる場合があります。
- ④ 灯油調節ツマミとタンクコックが閉じていることを確認します。
- ⑤ 安全弁を引いてタンク内の圧力を抜きます。
- ⑥ ポンプハンドルをポンプキャップに当て、そのまま反時計回りに回しポンプキャップごとポンプ式を取り外します。タンクから取り外したポンプ式は、ゴミやほこりが付着しないように注意してください。
- ⑦ 灯油を約5リットル(給油口より約15cmのところまで)給油します。
- ⑧ ポンプ式をタンクに入れ、時計回りに回してポンプキャップをしっかり締めてください。締まっていないと灯油が漏れたり、加圧が出来ません。
- ⑨ 給油の際に灯油をこぼした場合、タンクや周りに付着した灯油を布等で拭き取ってください。(引火防止)



③ 容器(ポンベ)の取り付け

- ① ロックナットのツメ(6本)とガイドがあることを確認してください。
- ② ロックナットのツメ(6本)が折れていたり、ガイドが外れている(無い)場合は使用しないでください。容器(ポンベ)の装着不良で、ガス漏れ等の原因となり危険です。
- ③ ガス調節ツマミを開閉とも強く締めすぎないでください。固着して動かなくなる場合があります。
- ④ ガス調節ツマミの「OFF」を確認します。
- ⑤ ロックナットを矢印方向に軽く止まるまで回します。矢印方向に止まるまで回していないと容器(ポンベ)を差し込めません。
- ⑥ 容器(ポンベ)の切り込みをポンベカバー内のガイドに合わせて差し込み、時計回りに止まるまで軽く回します。(約3/4回転)
- ⑦ 装着時、強く締めすぎないでください。容器(ポンベ)やロックナット(ガイドやツメ等)の破損の原因となります。



④ 加 圧

- ① ポンプキャップに固定されているポンプハンドルを、回して固定を解除し上げます。
- ② ポンプハンドルを持って加圧します。(加圧回数はおもて面「タンク内の灯油量と加圧回数目安」参照)加圧の目安として、安全弁から空気が抜けたら加圧完了です。
- ③ ポンプハンドルを下まで押して時計(右)回りに回し動かないようにポンプキャップに固定します。
- ④ 加圧時、タンクやバーナー等から灯油が漏れていないことを確認してください。
- ⑤ タンクを正立の状態にして作業をおこなってください。安全弁から灯油が噴き出る事を防止するためです。



⑤ 予 熱 ~ 点 火

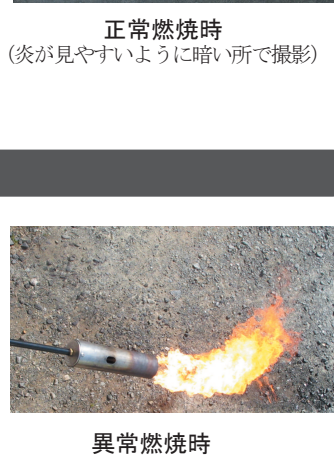
- ① 点火前にガス・灯油の漏れがないか確認してください。
- ② 周辺に引火物・可燃物がないことを確認して、風下を向いて点火・燃焼をしてください。
- ③ タンクコックを開きます。
- ④ 火口を上に向けてガス調節ツマミを開き、点火用ガスライター等を下または横から近づけて点火します。(やけど注意)
- ⑤ 手元を火口の前や上にして点火しないでください。やけどの恐れがあります。



- ⑥ 点火後、火口を下に向け、15~30秒灯油燃焼させ、予熱をおこないます。(予熱時間は外気温によって変化します)予熱をしながら、草焼き作業もできます。
- ⑦ ガス燃焼(青い炎)は明るい所では見えにくいので、取り扱いに注意してください。
- ⑧ ポンベカバーの持ち手を横や逆さまにして持たないでください。火力が落ちて十分な予熱ができません。
- ⑨ 予熱後、ガス燃焼の状態のままで灯油調節ツマミを少し開き、炎に赤火が混じるまで待ちます。
- ⑩ 赤火が出たらガス調節ツマミを閉じ、灯油調節ツマミを半回転ほど開き炎を安定させます。
- ⑪ 炎が安定したら灯油調節ツマミを全開にします。
- ⑫ 炎が小さくなってきたら、少しずつ追加加圧してください。
- ⑬ 加圧する際、炎に十分注意してください。(やけど・火災注意)

警告

赤く長い炎(生火)や、灯油が液体の状態に出た場合は、予熱不足です。灯油調節ツマミを閉じ、予熱からやり直してください。再点火の際は、バーナー内に残った灯油が飛び出す場合がありますので、火口を下に向けて点火してください。



⑥ 消 火(ノズルクリーニング)

- ① 消火時や消火後は、バーナー等がしばらく熱いので、素手などで触れないでください。
- ② 灯油調節ツマミを「OFF」の方向へ止まるまで回します。
- ③ ガス調節ツマミを開き、炎が青くなるまで火口を下向きで燃焼します。(明るい所では青い炎は見えにくいです)
- ④ ガス調節ツマミを閉じて消火します。完全に消火したことを確認してください。
- ⑤ 安全弁を引いてタンク内の圧力を抜きます。
- ⑥ タンクコックを閉じます。

- ⑦ 緊急時の消火方法
- ⑧ バケツ等に用意した水の中にバーナー部全体が水に浸かるように、一気に入れて消火してください。
- ⑨ 灯油調節ツマミ、ガス調節ツマミを閉めて容器(ポンベ)を外してください。(緊急時以外は通常の消火方法に従ってください)

火災に注意

風の強い日や火気厳禁の場所、木造建築物などの可燃物の近くでは絶対に使用しないでください。火災の原因となり大変危険です。使用後は燃やした物に必ず水をかけ、火だねが残っていないことを確認してください。



⑦ 保 管

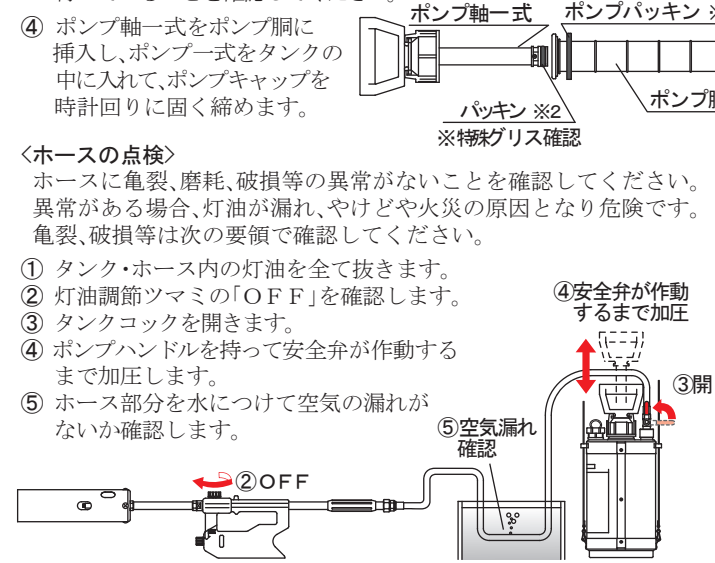
- ① 製品内から灯油を完全に出して40℃以下の直射日光の当たらない場所で保管してください。(らせん状パイプ等の詰まり防止/タンクの変形・故障の防止)
- ② 安全弁を引いてタンク内の圧力を抜きタンク内の灯油を全て抜きます。
- ③ タンクコックと灯油調節ツマミを開きポンベを20~30回加圧してホースからノズル内の灯油を抜きます。
- ④ ガス調節ツマミを開きガスを少し出します。(ノズルクリーニング)
- ⑤ 安全弁を引いてタンク内の圧力を抜きます。
- ⑥ ガス調節ツマミの「OFF」を確認し、容器(ポンベ)を反時計回りに回しポンベカバーから外します。
- ⑦ 容器(ポンベ)はキャップをして保管してください。
- ⑧ 必ずポンプハンドルをポンプキャップにロックした状態で保管してください。(ほこり等の混入防止)

日常の点検・手入れ

故障や破損など不具合と思われる製品は、おもて面の「故障・異常の見分け方と処置方法」を参考に処置してください。それ以外で故障や破損など不具合と思われる製品は、使用しないでください。思わぬ事故につながります。不具合の際は、弊社にて修理対応させていただきます。(出荷できる部品もあります。「供給可能部品一覧」をご確認ください。)

日常の点検・手入れ

- ① 必ず製品が十分に冷めた状態でおこなってください。
- ② <ポンプ部の手入れ>加圧時にポンプハンドルの動きが硬くなったり、加圧できない場合はポンプパッキン・Oリングセット(別売品)をお買い求めいただき次の要領で交換してください。
- ③ ④ パッキン交換時の注意事項(加圧できない原因となります)
 - パッキンにゴミや異物が付着していないこと
 - パッキンを傷つけないこと
- ⑤ 安全弁を引いてタンク内の圧力を抜き、タンクからポンプ式を引き抜きます。
- ⑥ ポンプ胴からポンプ軸一式を引き抜きます。
- ⑦ パッキン(Oリング P24 ※2)・ポンプパッキン(※4)を交換します。
- ⑧ パッキン(※2)に特殊グリス(潤滑剤)が付いていることを確認してください。
- ⑨ ポンプ軸一式をポンプ胴に挿入し、ポンプ式をタンクの中に入れて、ポンプキャップを時計回りに固く締めます。
- ⑩ <ホースの点検>ホースに亀裂、磨耗、破損等の異常がないことを確認してください。異常がある場合、灯油が漏れ、やけどや火災の原因となり危険です。亀裂、破損等は次の要領で確認してください。
- ⑪ タンク・ホース内の灯油を全て抜きます。
- ⑫ 灯油調節ツマミの「OFF」を確認します。
- ⑬ タンクコックを開きます。
- ⑭ ポンプハンドルを持って安全弁が作動するまで加圧します。
- ⑮ ホース部分を水につけて空気漏れがないか確認します。
- ⑯ 安全弁が作動するまで加圧
- ⑰ 空気漏れ確認
- ⑱ 開く



供給可能部品一覧

バーナー外管 (十字穴付トラスタッピンネジ 4ヶ付) 	バーナー式
ポンプ軸一式 	ポンプ胴
安全弁セット (Oリング ※3 組込) 	ポンベ樹脂カバー (・ポンベ樹脂カバー(L)・(R)青色) (・十字穴付ナベタップタイトネジ 6ヶ付)
吊りベルト 	 ※ロックナット(容器(ポンベ)取り付け部分樹脂・黒色)は含まれておりません。
交換用フィルターセット <ul style="list-style-type: none"> ●金網フィルター ●不織布フィルター ●Oリング AS568-112 ※ワセリン塗布 	ポンプパッキン・Oリングセット <ul style="list-style-type: none"> ※1 ●Oリング P12.5 ※ワセリン塗布 ※2 ●Oリング P24 x2 ※ワセリン塗布 ※3 ●Oリング P22 ※4 ●ポンプパッキン

※お求めの際は、製品をお買い上げいただいた販売店でお取り寄せください。※一覧にない部品は出荷できません。(修理扱いになります)